

●コース距離：11.0km  
●歩行時間：4.5時間

- ①高田馬場駅  
↓1.0km
- ②高戸橋(都電荒川線)  
↓0.9km
- ③甘泉園公園  
↓0.9km
- ④肥後細川庭園  
↓0.3km
- ⑤水神社  
↓3.2km
- ⑥小石川後楽園  
↓1.5km
- ⑦本郷給水所公苑  
↓0.2km
- ⑧東京都水道歴史館  
↓1.5km
- ⑨湯島聖堂  
↓0.5km
- ⑩神田明神(神田神社)  
↓1.0km
- ⑪万世橋  
↓1.5km
- ⑫浅草橋駅



### ⑪万世橋

秋葉原電機街の南端に位置し、中央通り(国道17号線)上にあるアーチ橋。現在の橋は昭和5(1930)年に架けられたもの。



### ⑨湯島聖堂

御茶ノ水駅から神田川にかかる聖橋を渡った所にある孔子廟。もとは上野に居を構えていた儒者林羅山の邸内にあったが、元禄3(1690)年に五代将軍徳川綱吉によって現在の地に移された。また十一代将軍家斉の時、ここに「昌平坂学問所」が開設され、官学の中心地となった。

### ⑧東京都水道歴史館

本郷給水所公苑に隣接する資料館。江戸から東京にかけての水道の歴史を学ぶことができる。玉川上水、神田上水など江戸の水道の成り立ち、町人が住んだ長屋と井戸のある風景などが復元され、展示されている。



# Walking Course



### ⑫浅草橋駅

JR総武線と都営地下鉄浅草線が乗り入れる駅。駅周辺は玩具や装飾品のパーツを扱う店が軒を連ねる。

### ⑩神田明神(神田神社)

湯島聖堂から本郷通りを隔てた北側にある神社。元和2(1616)年に現在の場所に移されてからは江戸総鎮守として崇敬された。現在は大黒、恵比須、平将門の三柱を祀っており日本橋、秋葉原、大手町、湯島など108町会の総氏神となっている。この神社の神田祭は江戸三大祭りのひとつとなっている。



### ⑦本郷給水所公苑

東京都水道局の本郷給水所の上部にある人工地盤に造成された公苑。洋風庭園と和風庭園の2つの区画に分かれており、洋風庭園では春と秋にバラが鑑賞できる。また和風庭園の一角には江戸時代の神田上水が復元されている。



### ①高田馬場駅

山手線、東京メトロ東西線、西武新宿線が乗り入れるターミナル駅。JRのホームでは電車が停車する際に鉄腕アトムの主題歌が流れる。



### ④肥後細川庭園

肥後細川家の庭園の跡地をそのまま庭園にした池泉回遊式庭園。目白台地から神田川へ落ち込む斜面を活かして作られている。春から夏にかけては新緑、秋には紅葉、冬には雪吊りと四季それぞれに美しい景観が楽しめる。

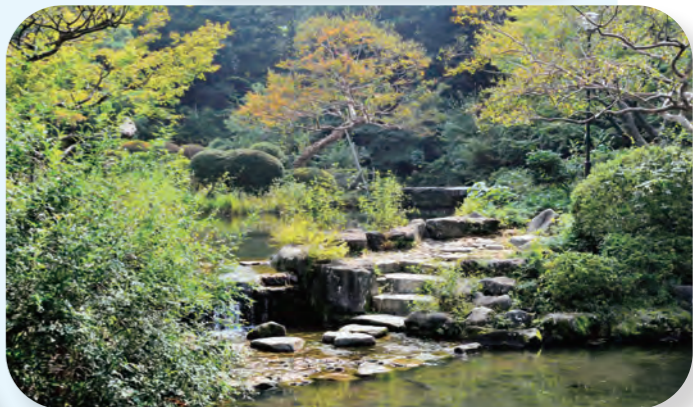


### ⑥小石川後楽園

寛永6(1629)年に水戸徳川家の祖である頼房が、江戸の中屋敷(後に上屋敷)の庭園として造営を始め、二代藩主光圀の代に完成した。宋代の学者范文正の「土はまさに天下の憂いに先だつて憂い、天下の楽しみに後れて楽しむ」言葉から「後楽園」と名づけられた。庭園は池を中心とした「回遊式築山泉水庭園」になっている。園内からは東隣にある東京ドームの一部も見える。

### ②都電荒川線(高戸橋付近)

荒川区南千住にある三ノ輪橋停留所と新宿区西早稲田の早稲田停留所までを結ぶ路面電車。愛称は「さくらトラム」。明治通りから高戸橋交差点を左折して新目白通りに入る。



### ③甘泉園公園

もともと徳川御三卿のひとつ清水家の江戸下屋敷が置かれていた土地だったが昭和44(1969)年に都立公園となった。甘泉園とはここから湧く泉の水がお茶に適していたことから名づけられた。都心のオアシスのような一角となっている。

### ⑤水神社

細川庭園のすぐ隣にある神社。神田上水が開設されて以来、関口水門の守護神として祀られてきた。鳥居には水神社と記銘されているが、その理由は不明。



# 快汗ウォーキングコース

## 高田馬場駅から神田川沿いに早稲田、肥後細川庭園、本郷給水所公苑、神田明神、湯島聖堂、秋葉原などを巡り、浅草橋まで歩く半日コース

肥後細川庭園では抹茶も楽しめる

